

「防災意識度・知識度チェック」をしてみよう！

対象	小学校高学年～中学生
コマ数	0.5～1 コマ

実践校：厚木市立睦合東中学校

プログラム要素	災害そのものを知る意識
---------	-------------

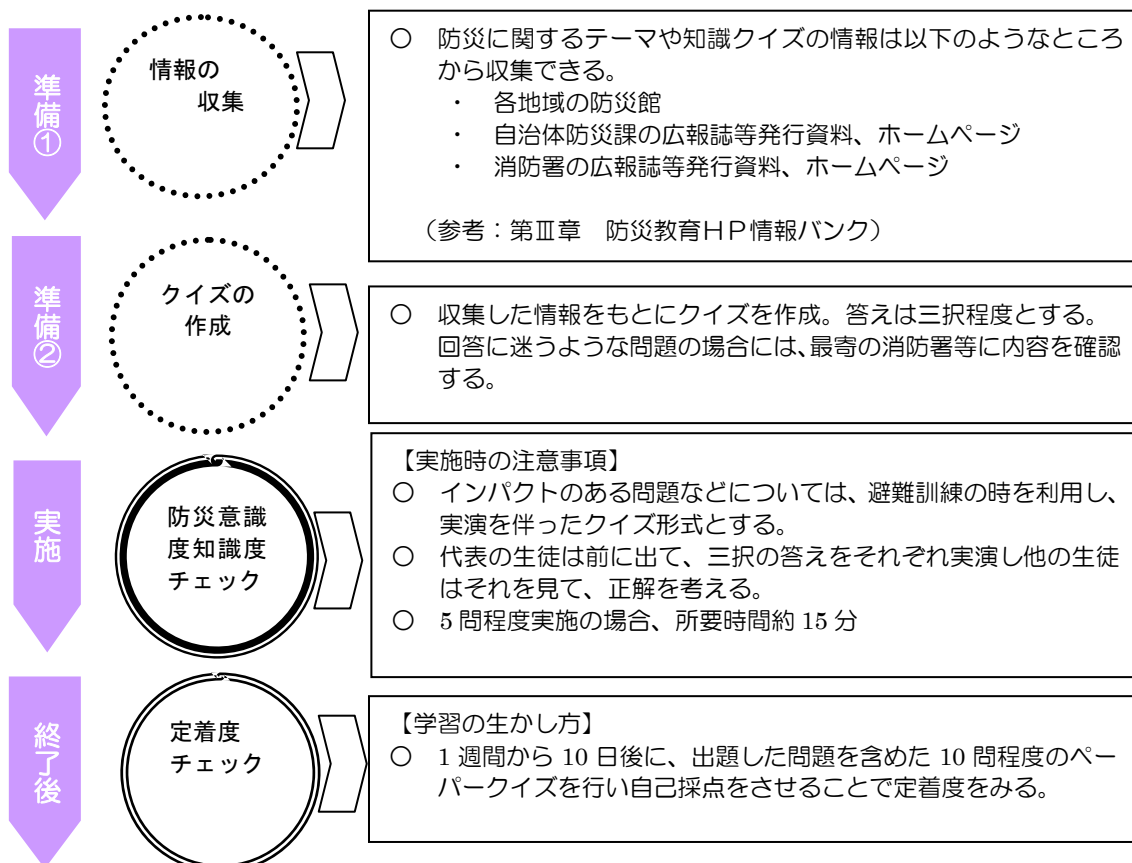
<何をやるの？>

- ☀️ 地震、火災を察知し対処するための知識をインパクトをもって伝える。避難訓練時に**実演クイズ形式で5問程度**行うと共に、その知識が根付いているか、後日**10問程度をペーパークイズ**を使って確認する。

<なぜ必要なの？>

- ☀️ 災害時にどのような行動を取るかは、命を守れるかどうかにつながる。そのためにもどのような場合にどうしたらよいかという基礎知識を身に付け、判断力を養うことが重要である。**クイズ形式により楽しみながら力をつける。**

<プログラム実施までの流れ>



時間	内容	実施風景
朝の会	<p>「いつ火災や地震がおきても大丈夫?」「休み時間だったらどうする?」などの投げかけをしておく。6 時間目に避難訓練があることは伝えるが、休み時間中だとは知らせない。防災頭巾の常備、防災頭巾代用の工夫、校内の様々な場所からの避難経路、心構えなどについても触れておく。</p>	
14:20	<p>【避難訓練】 非常ベルと火災を告げる放送。休み時間の実施と知らされていなかった生徒達は放送を聞き、各自、校庭に避難を始める。 全員整列。通常の避難よりも点呼終了までに時間がかかったが、不明者等は出なかった。</p>	
14:30 ～ 14:45	<p>【火災知識度クイズ】 安全指導担当教諭による「火災知識度クイズ」。 保健係が前に出て、三択ある回答をそれぞれ実演し、生徒は正解を探す。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①地下街で買い物中に火災が発生したらどうするか。 ②火事が起こり部屋に煙が充満してきた場合はどうしたらよいか。 ③煙が上にあがってくる速さはどのくらいか。 ④初期消火では消すことが不可能とされているのは、どのくらいの炎か。 ⑤火事を発見した者の義務として正しいものはどれか。 <p>全問終了後、挙手により正答率を確認。5 問正解は 3～4 人。4、3、2 問正解がそれぞれ 3 割程度。</p>	 
14:45 ～ 14:50	<p>【指導講評】 学校長より指導講評。天災・人災いずれにおいても避難するときには、自分の判断というものが大切になってくることを説明。</p>	
翌週	<p>今回の火災知識度クイズで行った知識の定着度を確認するため、翌週、クラス毎に火災知識チェックシートを実施。(避難訓練時に出題した 5 問を含め、計 10 問実施)</p>	